

【日時】 R8. 8. 22 (土) 14 : 00-17 : 00 【会場】 イオン東海店フードコート 【参加者】 4 名

第 143 回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1-1】原子力発電所の再稼働について

村長選の際、原発の再稼働を推進するとおっしゃっていたが、村民の生活を守るという立場で本当に再稼働が必要なのか考えをお聞きしたい。

⇒【村長コメント】

東海村の産業は原子力・火力発電所と原子力研究開発の2つが主要となっており、村内の雇用や経済的な面ではかなりのウェイトを占めているため、原子力との共存は必要だと考えている。また、働く場所がなくなることによって村の人口減少につながる恐れもある。安全対策など様々な課題はあるが、村民の生活や雇用に直結しているため経済的な部分も含め必要だと考えている。

【1-2】東海村産業振興ビジョンについて

産業振興ビジョンの中で「東海村の企業が儲かるために支援しよう」というような表現があるが、どのような意図があるのか。

⇒【村長コメント】

東海村には発電所や研究開発施設があり、それらを取りまく基幹産業があるが、そこでの利益の大部分が東京の会社に持っていかれてしまう。そういった意味で、少しでも地元の会社が下請けではなく、直接請け負えるぐらいの力をつけて欲しいということで、地元の企業を応援するものである。

【2-1】福島第一原子力発電所の見学ツアーについて

福島第一原子力発電所を見学できるようなバスツアーを開催してほしい。

⇒【村長コメント】

これまで村が主催でそのようなツアーを実施したことはない。双葉町長やいろいろな方に話を聞いてみる。どのように一般の方向けに視察が組まれてるのか現状を確認した上で、東海村民を対象にそのようなツアーを計画できるかどうか検討する。

【2-2】「IBARAKI PASSPORT」について

茨城県が群馬県の「GUNMA PASSPORT」を真似て、「IBARAKI PASSPORT」を制作すると発表

したが、東海村でも同じような取り組みをしてはどうか。

⇒【村長コメント】

ご意見として伺う。

【2-3】小中学校の校舎・体育館を使った避難所体験について

小中学校の校舎、体育館に泊まって避難所体験のようなものができるのか。

⇒【村長コメント】

東海村の基幹避難所はコミセンになっており、訓練も基本的には日中に行ってしまうので、学校施設を使った宿泊を伴う訓練というのは計画していない。ご意見として伺い、他市町村ではどのように実施しているのか調べてみる。

【3】育児に関するサービス利用時の補助について

ベビーシッター等のサービスを負担なく気軽に利用できるような補助制度を設けてほしい。

⇒【村長コメント】

担当課に共有する。

【4-1】LINEによる通報システムの周知・理解浸透を図る方法について

3月のふれあいトークにおいて、村長が「地区自治会の総会に出席する際に、LINEによる通報システムに関して周知をする」とおっしゃっていたが、その後の状況はどうか。

⇒【村長コメント】

現時点で周知できていない。

【4-2】村長の記者会見 YouTube 配信について

3月のふれあいトークで「記者クラブからの了承が得られれば可能であると考える」と回答いただいたが、その後の状況はどうか。

⇒【村長コメント】

記者クラブにはまだ相談していない。自分の中でまだYouTube配信を含め、SNSを発信するという結論に至っていない。

【4-3】あいのりくんを活用した後期高齢者健康診査・期日前投票支援事業の提案

後期高齢者健康診査や期日前投票の際、あいのりくんを使って高齢者を無料で送迎ができないか。

⇒【村長コメント】

ご意見として伺う。

【4-4】東海村道路保全 DX 構想について

東海村の次期道路保全計画は、GIS を基盤とする予防保全型 DX 計画として再構築すべきと考える。

⇒【村長コメント】

いただいた資料を含め、担当課に共有する。

【4-5】東海村行政 DX の成果発信と日本 DX 大賞への挑戦について

東海村でも日本 DX 大賞に挑戦してみてもどうか。東海村は 2021 年から DX に取り組んでおり、その先進的な取り組みを全国に発信すべき。

⇒【村長コメント】

担当課に共有する。